

部品番号：KHP21350

名称：DIESEL CLEANER

安全データシート
Safety Data Sheet (SDS)

商品の販売元：

住友建機販売株式会社

住所： 〒141-6025

東京都品川区大崎二丁目 1 番 1 号(ThinkPark Tower)

担当部門：カスタマーサポート部 部品グループ

電話： 050-9001-6447

FAX： 03-6866-5112

作成日 2010/6/9

改訂日 2024/10/31

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ディーゼルクリーナー (IC-U25)
供給者の会社名称	油化産業株式会社
住所	東京都渋谷区恵比寿 4-1-18
電話番号	TEL 03-5791-4101 / FAX 03-5791-5200
担当部門	生産技術部品品質保証課
E-mail	qa_info@yuka-sangyo.co.jp
緊急連絡先	TEL 06-6416-3565 (9:00～17:00)
推奨用途	ディーゼルエンジン用燃料添加剤
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

健康有害性	皮膚腐食性／刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 1
	生殖毒性	区分 1 B
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（呼吸器、肝臓）
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分 1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分 1

上記で記載がない危険有害性は「区分に該当しない」、又はデータがなく「分類できない」。

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
	生殖能又は胎児に悪影響のおそれ
	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（呼吸器、肝臓）の障害
	水生生物に非常に強い毒性
	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
 取扱い後は手などをよく洗うこと。
 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

環境への放出を避けること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。（応急措置の項を見よ）。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

漏出物を回収すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物／容器を国／都道府県など自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	化審法番号	CAS RN	濃度
ポリオキシエチレンアルキルアミン	登録あり	非開示	69 %
ポリエチレングリコールジアルキルエーテル	登録あり	非開示	8～12 %
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	(7)-97	112-34-5	10 %
N-メチル-2-ピロリドン	(5)-113	872-50-4	7.8 %
水	—	7732-18-5	1～5 %

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、ハロゲン化物、水噴霧

使ってはならない消火剤

棒状放水

特有の危険有害性

発生するガスには有害な窒素酸化物が含まれるので、吸い込まないように注意する。

特有の消火方法

適切な消火剤を使用し、風上より消火する。

周囲に水を散布し、冷却する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、

作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）

保護具及び緊急時措置

を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び

少量の場合、漏出液はおがくず、ウエス、砂などに吸収させて処理

機材

する。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、バキューム車などで回収

する。

二次災害の防止策

データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体排気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱注意事項

火気厳禁。

取扱い後は手などをよく洗うこと。

全ての安全注意を読み、理解するまで取扱わないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策

特別に技術的対策は必要としない。

混触危険物質

『10. 安定性及び反応性』を参照。

適切な保管条件

使用時以外は容器を密栓し、涼しい換気の良い場所に保管する。

40℃以上になる場所、凍結する場所には保管しない。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

データなし。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

濃度基準値

八時間濃度基準値

ジエチレングリコールモノブチルエーテル 60 mg/m³ (2025/10/1 適用)

許容濃度

日本産業衛生学会

N-メチル-2-ピロリドン 1 ppm 4 mg/m³ (経皮吸収)

ACGIH

ジエチレングリコールモノブチルエーテル TWA 10 ppm (IFV)

設備対策

貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じ有機ガス用防毒マスクを着用すること。

手の保護具

不浸透性、耐薬品性ゴム手袋を着用すること。

眼及び/又は顔面の保護具

ゴーグルタイプの保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、耐薬品性のゴム保護服、保護前掛け、保護長靴を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色～褐色
臭い	わずかなアミン臭
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	
沸点	データなし
初留点	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
	データなし
引火点	130 °C
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	9.5 (1%水乳化液)
動粘性率	データなし
溶解度	
水に対する溶解性	わずかに溶解する。
溶媒に対する溶解性	アルコール、石油系溶剤に可溶。
n-オクタノール・水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び/又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	
比重	0.927 (15/4 °C)

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	強酸や酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	高温
混触危険物質	強酸、酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	データがなく分類できない。
経皮	データがなく分類できない。
吸入 (蒸気)	データがなく分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	区分 1 の成分を 5%以上含むことから、区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1 の成分を 3%以上含むことから、区分 1 とした。
呼吸器感作性	データがなく分類できない。
皮膚感作性	データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。

発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	区分 1 B の成分を 0.3% 以上含むことから、区分 1 B とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（呼吸器、肝臓）の成分を 10% 以上含むことから区分 1 とした。
誤えん有害性	データがなく分類できない。

1 2．環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）	区分 1 の成分を 25% 以上含むことから、区分 1 とした。
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 1 の成分を 25% 以上含むことから、区分 1 とした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データがなく分類できない。

1 3．廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄する場合、関連法規並びに地方自治体の規則に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者に委託処理をする。
汚染容器及び包装	空の容器・包装を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に、関連法規並びに地方自治体の規則に従い処分する。

1 4．輸送上の注意

国連番号	2735
品名	アミン類（液体）（腐食性のもの）
国連分類	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
緊急時応急措置指針番号	153

1 5．適用法令

消防法	危険物 第 4 類第 3 石油類 非水溶性液体 危険等級 III
労働安全衛生法	
表示対象物質	ジエチレングリコールモノブチルエーテル、N-メチル-2-ピロリドン
通知対象物質	ジエチレングリコールモノブチルエーテル、N-メチル-2-ピロリドン
皮膚等障害化学物質	N-メチル-2-ピロリドン【N-メチルピロリドン】
毒物及び劇物取締法	非該当

化学物質排出把握管理促進法

第 1 種指定化学物質

アルカン-1-アミン（アルカンの構造が直鎖であり、かつ、当該アルカンの炭素数が 8、10、12、14、16 又は 18 のもの及びその混合物に限る。）のオキシラン重付加物、(Z)-オクタデカ-9-エン-1-アミンのオキシラン重付加物及び(9Z,12Z)-オクタデカ-9,12-ジエン-1-アミンのオキシラン重付加物の混合物 69%
ジエチレングリコールモノブチルエーテル 10 %
N-メチル-2-ピロリドン 7.8 %

IECSC(中国現有化学物質名録)

全ての成分が収載済

1 6. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、これらのデータや評価はいかなる保証もなすものではありません。

また、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではなく、化学品は同一物質においても使用環境や使用者の体質・体調等により危険性や健康面への影響等が一樣ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。記載内容の問い合わせは、表記の油化産業株式会社 品質保証課へお願いします。

参考文献

(独) 製品評価技術基盤機構「化学物質総合情報提供システム」
職場のあんぜんサイト
JIS Z 7253 : 2019

以上